

じんげん アジール asile

大谷大学広報誌
Spring & Summer 2012

相手を想い、敬い、さらなる自己を見出していく



This theme

新入生を迎えて

本当のコミュニケーションを育む より豊かな学びの場を目指して

2011年10月、大谷大学は今後10年間の基本方針となる

グランドデザインを策定しました。

それによって大谷大学の「学び」はどう変わるのか

本学を卒業後、大阪市で小学校教諭を務める藤原愛子さんを
インタビュアーとしてお招きし、草野学長にお話を伺いました。

Question 01

まず最初に、グランドデザインを策定された経緯と、その目的や内容についてお聞かせください。

学長 策定に至る最も大きな要因といえば、18歳人口の減少という時代背景です。今現在、18歳人口は約120万人弱。今後7年間は約120万人前後で推移し、その後90万人に激減すると言われていきます。そうした環境のなかで、今大学に求められているのは、社会に認められ信用される「存在価値」です。そのために、改めて大谷大学が進むべき方向性を明文化したのが、グランドデザインというわけです。

——ビジョン・目的として「仏教精神に基づき、社会を主体的に生きることのできる人物を育成する」とありますが、具体的にはどういうことなのでしょう？

学長 改めて文章にすると難解なように思いますが、でも、そのこと

は大谷大学がずっと目指し続けているものです。建学以来、本学は仏教という二千五百年の間受け継がれてきた英知を手がかりに、「人間存在とは何か、いかに生きるべきか」を考えてきました。そのことが「仏教精神に基づいて」という文章に表されています。そして、「社会を主体的に生きる」とは、自分をしっかりと持ち、その上で相手を尊重し理解する中で、信頼関係を築いていくこと。そうした「独立性」に立った相互理解こそが、本当の意味でのコミュニケーションだと考えています。つまり、人間存在・生きる意味を考えることで自己を確立し、他者を敬い、ゆるぎない信頼関係を築いていける人物を育成することが、グランドデザインで掲げた目的だと言えるでしょう。

Question 02

グランドデザインによって、今後の学びの環境はどう変わっていくのでしょうか？

学長 まずひとつは、語学教育の強化です。文化の根底をなす語学は、本学のような人文系の大学では昔から重視されてきたのです。ところが、時代の趨勢の中で削減されてきた流れがあります。そこで、文化は



草野 顕之 (くさの けんし)

1976年3月大谷大学文学部(史学科)卒業。1981年3月同大学院文学研究科(仏教文化専攻)博士課程満期退学。2003年博士(文学)(大谷大学)。学生部長、学監・文学部長などを歴任し、2010年4月より第27代学長に就任。
専門分野/日本仏教史(中世)・真宗史



藤原 愛子 (ふじわら あいこ)

2009年本学文学部仏教学科卒業。在学中にはインド研修に参加し、約10日間の遺跡巡りを体験。人として大切なことを大谷大学で学んだと語る。現在、大阪市の小学校教諭として活躍中。



小学校 教諭 Interviewer Aiko-Fujiwara
学長 Messenger Kenshi-Kusano

もちろんコミュニケーションにとっても重要な語学を、再度強化したいと考えています。そしてもうひとつは、教養教育の充実です。これも過去の教育事情のなかで専門性を優先する一方、疎かにされてしまった部分。しかし、専門分野だけを学んでいれば卒業できるといった状況は、やはり大学教育としての在り方として問題があるように思います。そこで、そうした状況を一歩修正したのが、実は現在のセット科目なんです。

——確かに、学科を問わず自由に選択できるセット科目では、自分の専門以外にも興味を広げることができましたね。

学長 そのセット科目を、さらにもう一段進める「副専攻」という考え方を現在検討中です。たとえば仏教を専攻する人が、歴史や文学を副専攻として選択することで、より幅広い教養を身につける。幅広い学問をしっかりと学ぶ環境を整えることで、自分の専攻や興味だけでなく、さまざまな可能性を引き出していくというのが狙いです。もちろん、専門を深く掘り下げていく意味でも、幅広い教養は、より客観的かつ

多角的な視点から考察していく力につながるでしょう。

Question 03

大谷大学での学生生活を爽りあるものにするために何が必要だとお考えですか？

学長 学習面でいえば、いろんな機会を最大限に活用してほしいですね。カリキュラム以外にも外国語勉強会や海外研修など、本学ではさまざまな学びの場を用意しています。学内だけでなくフィールドワー

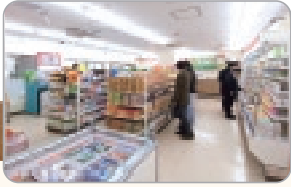
クにも出かけていたり課外活動を頑張ってみたり、学びのチャンスをとんどん広げてほしい。そうした活動を通していろんな人と接していく中で、コミュニケーション能力も鍛えられていくはず。ただ、ひとつ心に留めておいてほしいのは、自分の意見を言うだけがコミュニケーションではないということ。ややもすると、自己主張することがコミュニケーション能力だと捉えられがちですが、本来一方的なものではないはず。冒頭でも述べたように、互いに尊重し理解しあう、相互の関係を築くのが本当のコミュニケーションですから、まずは相手の話すことを聞くことが第一歩でしょう。

——真宗の教えの中にも「聞思」という言葉がありますね。

学長 まずは聞くことから始め、相手を思い、敬い、その中でさらなる自己を見出していく…それは仏教精神に基づく大谷大学ならではの視点と言えるかも知れませんね。

——私は今、小学校で教える立場ですが、大谷大学で学んだ、相手を思いやる心の大切さを、改めて実感する毎日です。在学生の皆さんにも、一つひとつの学びを大切に、かけがえない学生生活を送ってほしいと思います。

谷大を楽しもう！ 私たちのキャンパスライフ



響流館 / こうりゅうかん B1F

購買部 (セブン-イレブン)

大学構内に、購買部としてセブン-イレブン大谷大学店が営業しています。大学生活に必要な文房具やレポート用紙等を購入することができます。

博綜館 / はくそうかん 1F

保健室 学生相談室 人権センター

学生生活における不安や心身の健康、人権に関する相談窓口が集まっています。何か不安があれば、一人で悩まず気軽に訪ねてください。



博綜館

2号館

尋源館

至誠館

聞思館

3号館

1号館



尋源館 / じんげんかん

1913年に竣工された、赤レンガの外装が特徴的な大谷大学のシンボリック建物です。2階の尋源講堂では、朝の勤行が行われています。

北門

地下鉄「北大路」駅6番出口

北大路VIVRE

バスターミナル

スターボックス

至誠館 / しじょうかん 1F

教務課 学生支援課 キャリアセンター



大学内の職員室のような場所です。私も奨学金のことや試験のことで分からないことがあった時に、よく利用しています。みなさんも困った時には至誠館へ！

榎本 歩 (仏教科 第2学年)

響流館 / こうりゅうかん 3F

GLOBAL SQUARE

留学や語学学習、留学生との交流に興味のある学生をサポートする部屋です。留学説明会や勉強会、留学生との交流イベント等を実施しています。



1号館 1F

Big Valley Café (学生談話室1)



日替わりでの100円パンやコーヒーが頂けます。友達のおしゃべりや疲れたときの息抜きの場合、ホッとする雰囲気があるのでつつい足を運びたくなりますよ。

若林 幸子
(仏数学科 第4学年)





部室棟



部室棟には各クラブの部室が一同に集まっています。気になるクラブがあれば、学生手帳に部室の場所が載っているので、どんどん訪ねてみてください!!

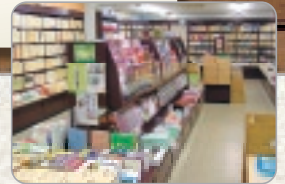
金田 真実
(人文情報学科 第4学年)

響流館/こうるかん

B1F

学内書店(文栄堂)

教科書や辞書をはじめ仏教関係の専門書、新書、文庫本から雑誌まで揃えています。またレポート・卒業論文等に必要の大谷大学論文用紙も販売しています。



講堂棟

B1F

学内食堂



日替わりランチは同じ値段でご飯の大きさを選べるので、腹ペコな学生にはとても有難いです。うどん・そばは70円と超お得!トッピングの天ぷらなども充実しています!

桑原 貴弘(文学科 第3学年)



4号館

1F

教職支援センター



教職や進路について相談にのってくれる頼れる先生方がいます。教育学や心理学に関する参考書も多く、パソコンも使用できるのでぜひ利用してみてください。

奥谷 千愛
(教育・心理学科 第3学年)



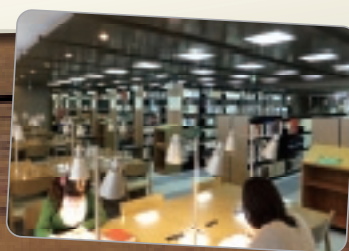
響流館/こうるかん B1・B2・1・2F

図書館



学術書や雑誌、学生の選んだ本などがあります。また、パソコンの貸し出しやDVDなどを視聴できるブースもあるので、ぜひ一度足を運んでみてください。

清水 良祐(人文情報学科 第4学年)



響流館/こうるかん

1F

博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学など、他分野にわたる資料を所蔵する博物館です。定期的に企画展や特別展を開催しています。



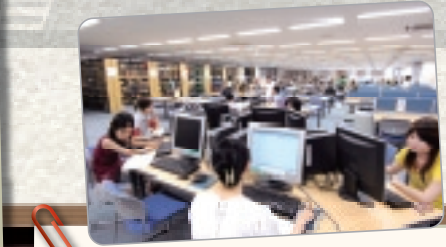
ローソン

王将

マクドナルド

地下鉄「北大路」駅5番出口

大垣書店



響流館/こうるかん

3F

総合研究室



ここではみんなが自由に学習できるスペースがあり、パソコンも使用できます。先生によってはここで授業が行われることもあります。皆さんもぜひ利用してください。

山崎 哲寛(国際文化学科 第4学年)



This theme

大学生活の 見つけ方

高校までの生活と比べ、大学生活は環境が大きく変化します。

未知の大学生活に着地するには、どうすればいいのか—

それぞれ違ったやり方を見つけた3人の先輩が集まり

「大学での居場所の見つけ方、過ごし方」について語り合いました。

打ち込んでいること 出会いのきっかけ

織田 まず始めに、皆さんが大学生活の中で打ち込んでいる事について聞かせてください。

廣瀬 私が1年生の時から取り組んでいるのは、伝道部での活動です。早くから部長として活躍のチャンスをいただき、さまざまに取り組みを率先して行っています。

湊 私は新入生歓迎実行委員会（以後、新歓）のメンバーとして、若葉祭の運営をはじめさまざまな活動に参加させてもらっています。

片岡 私の場合はお二人のように課外活動ではないのですが、将来、小学校の教師を目指して研究活動に力を入れています。友だちと一緒に学習会を開いたりしながら、お互いに刺激し合える環境を作ったりしていますね。

織田 それぞれに充実した大学生

活を送られているようですが、そもそも始めるきっかけになったのは何でしょう？

廣瀬 大学では歴史学を専攻したのですが、せっかく大谷大学に入学したのだから、何かの形で仏教に触れていたいという想いがありました。それで、仏教や真宗を学んだり、さまざまな宗教学行事に参加したりする伝道部に入部しました。

湊 私は入学と同時に貫練学寮に入っていて、同じ寮生の友だちからオープンキャンパスのスタッフをやらないかと誘われたのが、そもそもこのきっかけです。そこで新歓のブースを覗き、何だか楽しそうだと思いつき加を決めました。

片岡 きっかけと云えるかどうかわからないのですが、もともと新しい世界に飛び込んだり大勢の前で話したりするのが苦手というか恐かったです。学科で行われ





る模擬授業や発表の場も、最初は苦
勞しました。でも、将来学校の先生を
目指しているのに、これではいけない！
と思うようになって…そこからオー
ペンキャンパスのスタッフに挑戦した
り、みんなで学習会を開いたり、積
極的に動き出せたように思います。

活動や研究を通して 変わったこと

織田 片岡さんがそうだったように
大学に入って最初は不安や戸惑いを
感じる人も少なくないと思います。
でも、思い切って行動すれば、新しい
出会いや発見があつて、どんどん世
界が広がりますよね。

廣瀬 そうですね。もともと仏教
に触れたいという思いで入部したの
で、学外に出て法話を行ったり東本

願寺で行われるイベントのお手伝い
をしたりと、いろいろな活動を通し
て学んでいくのは本当に面白い。ま
た、部長としてそうした活動を企
画・実行するのも、大変ですがやり
がいを感じています。

湊 私の場合、新歓での活動もそう
ですが、寮に入ったことでもたくさん
の発見がありました。たとえば食事
の前の「食前の言葉」や毎日の勤行な
ど…どれもこれも新鮮で、最初は
戸惑いもあつたのですが、未知の文化
や習慣に馴染んでいくのは楽しいで
すよね。友だちもいっぱいできますし。
片岡 私は下宿なので、最初はとに
かく不安だらけでした。それに二人だ
と正直勉強もはかどらなくて…(笑)
だから、みんなと一緒に勉強するこ
とは刺激にもなるし意欲にもつな
がります。何より楽しくて、毎日の生

活にハリがたまね。

織田 高校生から比べて、変わった
など実感することはありますか？

廣瀬 高校までは一日の予定は大体
決まっていたのですが、大学はある
意味自由で、全て自分で決めていか
ないといけない。その分、やろうと思っ
たことはすぐに出来るし、自分なり
の目標を決めて行動できるように
なつたことが大きな変化ですね。

湊 私は、自分自身を見直すこと
ができるようになりました。「人間
学」の影響が大きいのですが、自分の
生き方というか、もつと出来ること
があるんじゃないかと考えるようにな
つて、課外活動はもちろん、震災
ボランティアや学園祭への協力など、
いろんなことに挑戦して充実した1
年を過ごせたように思います。何よ
り、仏教という新しい世界を知つて、
自分自身の考え方や価値観に、大
きな刺激をもらった気がします。

片岡 苦手意識を持たず、まずは
行動しようと思ったこともそうです
し、友だちと悩みや価値観など深い
部分での会話ができるようになった
と思います。グループでの模擬授業
などでは、時にはもめることもある
んですが、ぶつかりあう中で本音で
語り合える…そして、もつともつと
人と関わりたいと思えるようにな

りましたね。

大学生生活をより 充実させるために

織田 新しい世界との出会いや人と
の関係の中で、皆さん成長されてい
るんだと感じます。だからこそ今の
自分の殻に閉じこもらないで、ま
ずは出会ったものをはねつけないこと
が大切なんだと思います。では最後
に、大学生生活をより充実させるた
めのヒントをお願いします。

廣瀬 せっかく京都にいますか
ら、学内だけでなくいろんな所を訪
ねてほしいです。歴史や文化に触れ
たり、地域の人と接したり…京都
が「第二の故郷」になるように、せ
っかくの4年間ですら自分のやりた
いことを大事にしてほしいです。

湊 そうですね。授業のない自由な
時間をどう使うかは自分次第。ど
んどんいろんなことに挑戦してい
けば、その中で自分のやりたいことや
趣味を発見できると思います。

片岡 そして、同じやるなら楽し
もう！という気持ちが大切ですよ。
たとえ失敗しても、そこから学べる
ことはたくさんあります。だから不
安かもしれないけど、好奇心を優先
した方がいいと思います。

私たちの先生

表現することの喜びを伝えてくれる 心あたたかいお母さんのような存在。



絵を描いたりモノをつくったり、造形表現を通して子ども

な特徴のひとつ。授業での体験のひとつが、つくる喜びや感動の発見、そして大きな自信につながっていきます。

自分の中の新しい可能性を拓いてくれる、とってもステキな先生です。



もの豊かな感性や人間性の育成をサポートする—そのための題材を

「何でも言い合える家族みたいなゼミにしましょうね」とおっしゃる太田先生は、私たちにとってまさにお母さんのような存在。授業に関することはもちろんのこと、たとえ

ば言葉づかいや人に対する礼儀など、社会に出るために必要なことを時に優しく、時に厳しく教えてくれます。何より、表現することの喜びを伝えてくれる授業は、とても興味深く、本当に楽しいですね。高校生まで図画

「生きた学び」だからこそ、知識だけでは得られないさまざまなことを実感し習得することができま。また、グループで行う共同制作や模擬保育を通して、仲間とのコミュニケーションを深めていけるのも大き



工作や美術が苦手だった学生も、いつしか大好きになっているほど。



● 紹介してくれた短期大学部幼児教育保育科第2学年のみなさん
写真左より 田中友実さん・奥田朋子さん・梅林紅里さん・柚木彩加さん・大道康代さん・山崎莉那さん・田中沙樹さん・足立拓郎さん

短期大学部幼児教育保育科
准教授
太田 智子

京都市立芸術大学大学院
美術研究科絵画専攻修了。
日本画・造形表現・鑑賞
教育を研究領域とし、保育の
視点から子どもの発達をふ
まえた題材を追究。「図画工
作」「保育内容・総合表現」
「仏教保育演習(第2学年
対象ゼミ)」を担当。
専門 / 日本画

先生から 学生たちへの メッセージ

「イメージがわかない…」そんな声をよく耳にしますが、イメージは何も無いところからは生まれてこないもの。今までに体験してきたことが、色々な形で結びついて生まれてくるものです。そのためにも、より多くの実感をとまなう体験をしてほしいと思います。頭の中だけであれこれ考えるのではなく、ものをよく見て、耳を澄まして、手を動かして、身体全体で感じ、考えることが大切。そうやって自分自身の感性を磨くことが子どもの感性を育てることにつながると思います。作品を仕上げるのが最終目的ではなく、制作過程の中で試行錯誤しながら取り組むことが力になります。それが、保育の現場で工夫できる力のもとになると願っています。



キャリアガイド

今年の就職環境は？

今年の就職環境は、今なお先行きが不透明な経済情勢であるとともに、企業が厳選採用を行っているため、昨年に引き続き大変厳しい状況となっています。しかし、経済情勢の不安や企業の採用動向だけが厳しい就職環境の要因ではありません。実は、多くの学生が社会に出て働くことへの意識や志望動機が曖昧なまま、選考試験に臨んでいることも大きな要因となっています。

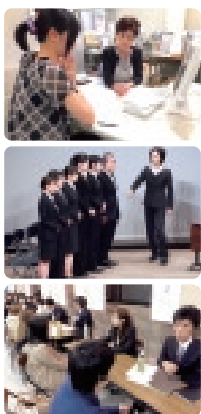
将来、自分らしさを発揮した生き方を実現するためには、まず自らを知る事が大切です。そのうえで、学生時代に①社会を主体的に生きること意識し将来の進路設計(キャリアデザイン)を行うこと、②社会で求められる力を身につけることが必要となります。

キャリアセンターを活用しよう

キャリアセンターでは、学生自身が自らを理解し、それぞれが描いたキャリアデザインを実現できるよう、個別相談をはじめ、さまざまな支援を行っています。

特に就職活動においては、求人情報や企業情報を提供するとともに、社会で求められる力やマナーなどを身につけるためのプログラムを用意しています。もちろん、大学院への進学や編入学などについての相談にも応じます。

自らの人生を切り拓いていけるよう、キャリアセンターの支援を大いに活用してください。



内定獲得・採用試験合格のミカタ！
キャリアセンターのサポート

求人情報・企業情報の提供

本学に届く求人情報は、「進路・就職システム(大谷大学就職ナビ)」(登録が必要)で公開し、携帯電話からもアクセスすることが出来ます。また、資本金や経営業績などの企業情報も提供しています。

キャリア形成支援プログラムの実施

卒業後の人生設計を考えながら、目標をもって大学生活を送り、社会人・職業人として必要な意識や職業観を身につけるため、インターシップなどのキャリア形成支援プログラムを提供しています。

個別相談・面接指導

キャリアセンターのスタッフが進路相談や応募書類(履歴書・エントリーシート)の作成・添削、模擬面接など、学生一人ひとりに応じたアドバイスを行っています。

就職ガイダンスや各種対策講座の実施

卒業後の進路や就職活動に対する理解を深めるための情報提供や就職活動に必要なスキル、マナーを身につけるための実践講座を実施しています。

詳しくはこちら → 大谷大学ホームページ

<http://www.otani.ac.jp/03>

就職活動体験記



2012年3月
文学部歴史学科卒業

吉田 卓弥

内定先:
村地総合木材株式会社

VOICE

私が就職活動において大事にしていたことは、気持ちの切り替えをしつかりすること、そして、自分自身に誇りを持つことです。学生生活では、就職活動を見据え、学業を疎かにせず、計画的に単位を修得するよう心がけました。また、サークル活動やスポーツ店のアルバイトに打ち込み、様々な立場の人たちとのコミュニケーションを通じて、礼儀や人との接し方を学びました。実際の就職活動では、みんながライバルとなりますが、他大学の学生との意見交換などを通じて、自分自身と違った考えに触れることができました。また、何十社と選考を受けましたが、自分を評価してくれる企業にはなかなか出会えませんでした。そんな辛く厳しい中でも、元氣良さを忘れずに学生らしい気持ちを持って取り組んだ結果、志望する地元の企業から内定をいただくことができました。最後まで諦めず、自分自身に誇りを持つていれば就職活動は成功すると思います。皆さんも、大谷大学で学んだ自分に誇りをもって、希望する進路を見つけてください。

キャンパス トピックス

Autumn ▶ Winter
2011-2012

TOPICS

トピックス

11月11日(金)～11月13日(日)
2011年度大谷大学学園祭
「Say! 楽しい祭」
「祭の出会いも多祥の縁」

学園祭中は、東日本大震災復興支援のための募金箱が設置され、被災地への応援メッセージを募る有志学生の姿も多く見受けられました。多くの災害が発生した年となりましたが、「たくさんの方の来場者により、たくさんの出会いを楽しんでもらうこと、日本中に元気を取り戻したい」という願いが実現した学園祭となりました。また、プロアーティスト

「ET・KING」による無料ライブも催され、小雨の中、キャンパスは学内外の来場者約1700人の熱気に包まれました。



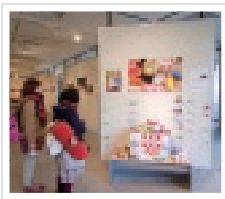
12月12日(月)～12月24日(土)

写真展

「心の翼クロアチアとつぼん」
「折り鶴でつなぐ希望の架け橋」を開催

響流館ギャラリーにて、本学卒業生の大桑千花さんによる写真展「心の翼 クロアチアとつぼん」折り鶴でつなぐ希望の架け橋」を開催しました。大桑さん在住のクロアチアでの、東日本大震災による被災地への支援活動が紹介されました。現地の子供達が真剣に折り鶴を作る写真に多くの来場者が見入り、中には折り紙などをご寄贈くださる方もおられました。

会期中の12月18日(日)には、教育・心理学科の学生有志がワークショップを開催し、クロアチアから届けられた折り鶴を、京都の子供達といっしょに装飾品にしました。



12月17日(土)

食育講座 &
京野菜料理教室を開催

春の健康診断時に、保健室が実施した「健康アンケート」の分析結果をもとに、食育講座と料理教室を開催しました。食育講座では、管理栄養士や京野菜マイスターから栄養バランスのとれた食事や京野菜に関する専門的な講義を受け、料理教室では、4種類の鍋を作り、



それぞれを食べ比べながら京野菜をたっぷり味わいました。日頃の食生活を見直し、食事の大切さや楽しさを改めて学びました。

12月18日(日)
2011年度第2回
留学生文化交流会を開催

「近江(滋賀)でそば打ち体験&大津別院参拝」をテーマに留学生文化交流会を開催しました。日本の年末年始の習わしである「年越しそば」の手打ち



体験やコマ・けん玉などの「お正月の遊び」、また大津別院参拝を通じて、日本人学生と外国人留学生の交流を深める良い機会となりました。

その他2011年度のニュースはこちら → 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/2011>

卓球部

関西学生卓球秋季リーグ戦(男子) **4部Aブロック 優勝**

関西学生卓球秋季リーグ戦(女子) **4部 4位**

秋季九大戦 **男子ダブルス ベスト8**
岩崎 雄一朗 / 仏教学科第3学年
榎谷 朋和 / 社会学科第1学年
男子シングルス ベスト8
岩崎 雄一朗 / 仏教学科第3学年
男子シングルス ベスト16
岡崎 耕平 / 哲学科第3学年

混声合唱団

第66回関西合唱コンクール
大学部門Bグループ **銅賞**

バドミントン部

関西学生バドミントン秋季リーグ戦(男子)
6部Bブロック 5位

関西学生バドミントン秋季リーグ戦(女子)
5部Aブロック 優勝(4部昇格)

京都学生クラス別大会
男子シングルスB級 3位
坂本 直樹 / 国際文化学科第1学年
女子シングルスA級 3位
八木 美沙紀 / 幼児教育保育科第1学年

京都学生選手権大会
女子シングルスB級 準優勝
三田 幸奈 / 人文情報学科第4学年

関西学生バドミントン新人戦大会
女子シングルスB級 ベスト8
榎谷 美月 / 哲学科第2学年

柔道部

第49回京都十二大学親善柔道大会
団体2部リーグ 優勝

第55回京都都学生柔道段別団体別選手権大会
初段の部 3位
中田 健太郎 / 歴史学科第1学年

バレーボール部

関西大学バレーボール連盟
秋季リーグ戦(男子) **6部 3位**

バスケットボール部

関西学生バスケットボールリーグ戦
5部Bブロック 6位
関西女子学生バスケットボールリーグ戦
3部Aブロック 14位

硬式野球部

京滋大学野球新人戦 **優勝**

京滋大学野球連盟秋季リーグ戦 **1部 5位**

【ベストナイン】 森本 捷平 / 社会学科第2学年
近澤 有希 / 社会学科第1学年
【新人王】 奥井 雄亮 / 国際文化学科第1学年
近澤 有希 / 社会学科第1学年

ソフトテニス部

関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦
6部Cブロック 準優勝

サッカー部

第89回関西学生サッカーリーグ(後期)
2部Bブロック 10位(3部降格)

2011年度秋季大会等結果



Campus Information

大谷大学・大谷大学大学院
大谷大学短期大学部

グランドデザイン

ビジョン・目的

仏教精神に基づき、
社会を主体的に生きることのできる人物を育成する

方針

教育に関する方針

教育の国際化を推進し、コミュニケーション能力など、社会に貢献し、活躍するために必要な具体的な能力を明確にし、その育成に努める

学生支援に関する方針

学生一人ひとりが学修に専念し、充実した学生生活を送ることができるよう環境を整えて、三 motto（本務遂行・相互敬愛・人格純真）を基盤とした人間の成長を促し、社会人としての自立を支援する体制を構築する

研究に関する方針

仏教を基盤とする大学として、人間と社会、その文化について探究し、その成果を国内外に向けて公開する

社会貢献に関する方針

教育・研究の充実により、地域社会を基盤として幅広く社会との連携を図る

管理運営に関する方針

教育・研究のさらなる発展のために、組織、施設および財政の整備・充実を図り、大学の運営力の強化をめざす

「グランドデザイン」発表

110周年を迎えた2011年10月13日の開学記念式典において、本学の理念・使命に基づく、2012年度から2021年度までの10年間のビジョン・目的及び行動計画を策定した「グランドデザイン」が草野顕之学長より宣言されました。

このグランドデザインでは、本学の建学の理念に基づいて、今後の人物養成のため基本ビジョンを「仏教精神に基づき、社会を主体的に生きることのできる人物を育成する」と設定しています。

また、上記の人物養成の基本ビジョンを達成するため、「教育に関する方針」「学生支援に関する方針」「研究に関する方針」「社会貢献に関する方針」「管理運営に関する方針」の5つの基本方針を定めています。

今後は、この10年を3期に区分し、各学科・委員会・事務部局において、具体的な行動計画を検討・立案し遂行していきます。

詳しくはこちら → 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/gd>

2012年度イベント予定

4月7日(土)

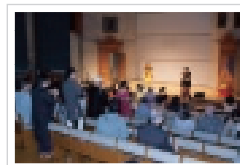
若葉祭

新生に大谷大学のキャンパスライフを知ってもらうための楽しいイベントです。キャンパスは、クラブ・サークルの活動発表や相談ブースなどでとてもにぎわっています。



課外教育行事 - 異文化との出会い -

課外教育行事-異文化との出会い-は、世界の様々な文化を知ることが目的に、映画や音楽、講演を実施しています。詳細については、日時や内容が決定次第、ホームページや掲示などでお知らせします。



詳しくはこちら → 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/2012>

2012年度博物館開館予定

春季企画展

大谷大学のあゆみ
— 清沢満之と真宗大学 —

2012年4月1日(日)～5月19日(土)

夏季企画展

神田コレクション
— 日本古代の金石文 — (仮)

2012年6月5日(火)～8月4日(土)

秋季企画展

物語の世界(仮)
※博物館実習生展併催

2012年9月4日(火)～9月22日(土)

冬季企画展

京都を学ぶ「仏教と荘厳」(仮)

2012年12月11日(火)～
2013年2月16日(土)

特別展

親鸞 — 真宗開頭 —

2012年10月9日(火)～
11月28日(水)

図書館からのお知らせ

2012年4月より、一般の方にご利用いただく場合、有料登録制となります。詳しくは下記図書館HP情報をご覧ください。

<http://www.otani.ac.jp/07>

詳しくはこちら → 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/01>



大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、学生支援事業の一環として本学の在学生を対象に文芸作品を募集し「言葉による表現意欲を奨励すること」を目的に、2006年度に創設された賞です。

今年度のテーマは「わたしの絆」でした。東日本大震災で断ち切られた多くの絆、そして新しく生まれた絆、また自身の回りにある沢山の絆、等などについて50字以内の自由表現で募集いたしましたところ、本年度は過去2番目の278編の応募がありました。「最優秀賞」は突出した作品が見当たらず残念ながら該当者なしでしたが、優秀賞2編、佳作10編が選出されました。

この文芸奨励賞が、大谷大学の新しい文化形成の役割をはたす催しとして、皆様方に定着しつつあることを大変うれしく思います。

大谷大学教育後援会長 相馬 温

*** 最優秀賞** 該当者なし

*** 優秀賞**

長谷川 直道【国際文化学科第2学年】

いつからあったかはわからない
気づいたらもうそこにあつた

宮田 瞳【歴史学科第2学年】

目に見えない、
ありがとう
いつてきます
うん

おめでとう
確かなもの。

*** 佳作**

菊池 洗人【修士仏教文化専攻第1学年】

あなたの背が丸くなるのを
十九年間見てきました
あなたのどんな言葉よりも
その姿の方が大事に思えます

河野 浩伸【歴史学科第1学年】

「いただきます」「ごちそうさま」
短いけれど気持ちが伝わる。

具志堅 倫護【哲学科第1学年】

「誰かの為に」と思うから
周りの人に優しく出来た
「誰かの為に」と思うから
周りが「私」に
笑顔をくれた

越光 航平【人文情報学科第3学年】

震災で母が死んだ。泣けなかった。
親子の絆はその程度かと思っただけ、
ポカポカした日は母の言葉に思える。

後藤 沙香【歴史学科第2学年】

辛くても笑顔でいる人達。
私は彼らが頑張らないで笑えるよう
沢山笑いたい。
そしてみんなで一緒に笑いたい。

諏訪 翔子【文学科第1学年】

頑張らなくていいよ。
久しぶりに聞いた、電話越しの母の声。
声を聞いただけで分かるつて、
親子なんだなあ。

蛭可 徹【哲学科第1学年】

故郷（ふるさと）を
離れ暮らして分かること
人との絆の
ありがたみを知る

眞鍋 芙美【歴史学科第1学年】

あなたたちと出逢えたことで
わたし
でいられるようになった。
…ありがとう。

山崎 藍理【哲学科第3学年】

「姉貴、ゲーム買って！」
「はいはい、割り勘ね」
いつまでもそんな、私たち。

山本 菜保子【国際文化学科第3学年】

本当の子やない私に
叱り、励まし、笑う父。
そんな父が私の誇りです。
きっと私の相手は
父の様な人でしょう。



表彰・授与式 2011年11月26日(土)

※学生の学年は、入賞作品発表時のものです。



部局長の交代

【学監・副学監】

水島 見一

(前学監・文学部長 門脇健)

【文学部長】

ローズロバート F.

(前学監・文学部長 門脇健)

【大学院文学研究科長】

高井 康弘

(前大学院文学研究科長 織田顕祐)

【短期大学部長】

山野 俊郎

(前短期大学部長 徳岡博巳)

【真宗総合学術センター長】

浅見 直一郎

(兼真宗総合研究所長
(前真宗総合学術センター長 藤嶽明信)

【入学センター長】

村山 保史

(前入学センター長 松川節)

2012年4月1日付(各通)

館長などの交代

【図書館長】

加藤 丈雄

(前図書館長 村瀬順子)

【博物館長】

齋藤 望(再任)

【入権センター長】

谷 眞理(再任)

【博物館主事】

平野 寿則(再任)

【総合研究室主任】

渡辺 啓真

(前総合研究室主任 並木治)

2012年4月1日付(各通)

定年退職

【教育職員】

池田 佳和(教授・文学部)

沙加戸 弘(教授・文学部)

寺林 脩(教授・文学部)

並木 治(教授・文学部)

【事務職員】

稲垣 淳造(教育研究支援部)

2012年3月31日付(各通)

契約期間満了による退職

【教育職員】

西川 知亨(任期制講師・文学部)

青木 三陽(任期制助教)

大角 紘一(任期制助教)

太田 路子(任期制助教)

後藤 智道(任期制助教)

長谷川 琢哉(任期制助教)

福島 重(任期制助教)

藤原 智(任期制助教)

右田 裕規(任期制助教)

【事務系嘱託】

今西 達也(企画・入試部)

川田 千尋(総務部)

静永 奈央子(学生支援部)

西川 裕子(学生支援部)

羽賀 麻衣子(企画・入試部)

別所 めぐみ(教育研究支援部)

【寮務系嘱託】

上秋 和子

【寮監】

谷口 愛沙(自灯学寮)

光川 眞翔(貫練学寮)

【校医】

市来 和政

【就職アドバイザー】

佐藤 恵

2012年3月31日付(各通)

依願退職

【教育職員】

ヴェステル デイ・デイ

(教授・文学部)

岡部 真由美(任期制助教)

2012年3月31日付(各通)

【事務系嘱託】

前田 幸子(企画・入試部)

2011年12月31日付

新規採用

【教育職員】

下道 省三

(教授・短期大学部)

武田 和哉

(准教授・文学部)

野中 亮

(准教授・文学部)

藤田 義孝

(准教授・文学部)

藤原 正寿

(准教授・短期大学部)

中川 眞二

(講師・文学部)

池田 佳和

(特別任用教授・文学部)



赤枝 香奈子
(任期制講師・文学部)



今西 智久
(任期制助教)



河崎 豊
(任期制助教)



黒澤 祐介
(任期制助教)



佐々木 秀英
(任期制助教)



鈴木 達明
(任期制助教)



相馬 晃
(任期制助教)



宋 基燦
(任期制助教)



竹中正太郎
(任期制助教)



廣田 大地
(任期制助教)



小原 紗貴
(教育研究支援部)



後藤 秋華
(総務部)



後藤 智道
(企画・入試部)



太江 由佳理
(学生支援部)



谷本 雅亮
(総務部)



井上 朋子
(学生支援部)



井上 舞
(教育研究支援部)



小熊 健一
(教育研究支援部)



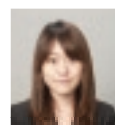
河野 麻友美
(企画・入試部)



川原崎 ふみ
(学生支援部)



坂根 利佳子
(総務部)



野邑 理香
(総務部)



宮川 真紀子
(学生支援部)



山村 依利
(企画・入試部)



横田 絢子
(総務部)

【寮監】

中山 量純(貫練学寮)

村田 知子(自灯学寮)

【校医】

山内 正美

【昇格】

2012年4月1日付(各通)

【教授】

山本 和彦(文学部)

山本 貴子(文学部)

【准教授】

市川 郁子(文学部)

三宅 伸一郎(文学部)

2012年4月1日付(各通)

2012年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部・短期大学部の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。2012年度の授業料のスライド率は、2011年度と同様0.00%とし、据置きとします。また、教育施設の維持・改善のための施設費および大学院の授業料も据え置き、2011年度と同額とします。なお、スライド方式について、右記のとおり学則の一部改正がなされたので、ご確認ください。

本学では、前掲のとおり2011年に今後の10年を見据えたグランドデザインを発表いたしました。この基本方針に基づいて、学生の皆さんの学費を有効に利用し、教育研究の充実と学生生活、就職活動支援などのために様々な事業を実施しています。

具体的には、学生が快適なキャンパスライフを過ごせるように、引き続きトイレの改修・バリアフリー化を進めます。また、現況

の厳しい就職環境に対応したガイダンス・セミナー・講習の実施など、キャリア支援を強化し、学生のニーズに応じた支援活動に取り組んでまいります。

人文情報学科では、2011年度からiPadによる新しいスタイルの教育・研究プログラムをスタートいたしました。2012年度の人文情報学科新入生全員にもiPadを配布し教育のさらなる充実に努めます。

◆文学部・短期大学部の「学則」の一部改正について

2012年4月1日より、下記のとおり改正いたしました。その改正部分の全文を掲載します。

2年次以降の授業料は、毎年度、前年度の授業料の額に、人事院勧告に基づく国家公務員の給与改訂率と、教育研究条件改善率(5%の範囲内)とを合算して得た指数を乗じた額を、前年度の授業料に加算した額(千円未満切り捨て)とする。

学生納付金は一年分を「前期」と「後期」の二回に分けて、納入いただきます。

前期学生納付金の納入期限は、4月20日(金)[後期は10月1日(月)](銀行受付日付有効)です。振込依頼書は、保証人(学費負担者)宛に4月2日[後期は8月末日]に大学より発送しますので、納入期日までに納入してください。納入期日までに納入のない場合は、学則により除籍となりますのでご注意ください。

なお、振込依頼書が届かない場合や、紛失・破損した場合には再発行いたしますので、財務課までお申し出ください。

また、経済的な事情により期日までに納入が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを4月20日(金)[後期は10月1日(月)]までにとってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」(所定用紙)および学費負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要となります。ご注意ください。

2012年度学生納付金一覧			学 費		その他の費用					合 計 額
			授業料	施設費	大谷学生会費	学生会費	教育後援会費	※同窓会 入会金	※同窓会 終身会費	
前 期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	/		516,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000			558,500
	大 学 院	博士後期課程 (2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000			316,000
		修士・博士後期課程 (2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000			356,000
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
		幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000
後 期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	626,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	593,500
	大 学 院	博士後期課程 (2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000			316,000
		修士・博士後期課程 (2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000	5,000	30,000	391,000
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	561,000

※本学では、学費のうち文学部および短期大学部の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用していますが、2012年度は据置きとしています。
 ※文学部第4学年、短期大学部第2学年、大学院修士課程第2学年、大学院博士後期課程第3学年に本年度進級する場合は、後期学費納入時に同窓会入会金と同窓会終身会費の納入が必要です。なお、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など、過去に同窓会入会金・終身会費を納入されていれば不要です。
 ※休学をする場合は、在籍料として半期毎に60,000円(学部学科共通)の納入が必要です。納入期日は、4月20日(金)[後期は10月1日(月)]です(締切日厳守)。
 ※修業年限を超えての在籍者については、一定条件のもと授業料が減額されます。

教育後援会だより

2011年度 教育後援会事業について(報告)

2011年度の主な事業につきましては、教育後援会の趣旨に基づき、キャリア・就職支援としての各種模試・セミナー等に対する補助、奨学金・奨励賞の給付・貸与、食堂のセットメニューや日替わりパンへの補助、クラブ・サークル運営費や連盟加盟費等の一部補助、父母兄姉懇談会開催等の活動がなされました。

*詳しくは、8月発送予定の「教育後援会報告書」にて報告いたします。

◆2012年度行事の開催案内

北陸地区父母兄姉懇談会	7月16日(月・祝)	ホテルフジタ福井 (福井県福井市)
	7月17日(火)	ホテル金沢 (石川県金沢市)
評議員会	6月29日(金)	大谷大学(京都市)
全国父母兄姉懇談会	9月22日(土)	大谷大学(京都市)
九州地区父母兄姉懇談会	12月1日(土)	ホテルレオパレス博多 (福岡県福岡市)
	12月2日(日)	ホテル・レクストン鹿児島 (鹿児島県鹿児島市)

2011年度 父母兄姉懇談会開催報告

9月24日(土)、大谷大学において「全国父母兄姉懇談会」が開催されました。第I部は大学側からの説明に続き、個別相談会並びに施設見学等が行われました。第II部は会場を市内のホテルに移し、教職員と直接お話をする和やかな懇談の場となりました。また、7月には札幌市、旭川市において「北海道地区父母兄姉懇談会」が、12月には高松市、高知市において「四国地区父母兄姉懇談会」が開催されました。



全国父母兄姉懇談会全体会の様子



北海道地区父母兄姉懇談会の様子

詳しくはこちら

→大谷大学ホームページ

<http://www.otani.ac.jp>

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人(父母兄姉等約4,000名)が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催して様々な事業計画を企画・推進しています。

教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

また、本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、並びに税額控除に係る証明(税額控除制度)を受けておりますので、寄付者(個人)の選択により、どちらか一

方の税法上の優遇措置を受けることができます。

今後も引き続き、募金のお申し込みを受け付けておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、2011年8月1日から2012年1月31日までの間、ご寄付いただいた方々のご芳名は次のとおりです。厚く御礼申し上げます。

●●●教育振興資金寄付者(敬称略)

浅田 純(長崎県)
綾澤 龍丸(香川県)
安藤 智秀(愛知県)
石倉 善八郎(滋賀県)
奥林 暁(大阪府)
小野内 悦二郎(京都府)
木越 康(京都府)
桑原 英世(栃木県)

高坂 美咲(岡山県)
小菅 宏造(新潟県)
小堀 賢一(京都府)
佐賀枝 夏文(滋賀県)
関 英隆(新潟県)
樽谷 和幸(広島県)
難波 明則(大阪府)
野口 文雄(愛知県)

長谷岡 英信(兵庫県)
古橋 浩一(滋賀県)
本多 敬(愛知県)
牧野 豊丸(福井県)
松木 正寿(新潟県)
裸 正人(滋賀県)
三井 英俊(愛知県)
南 且好(京都府)

森本 洋(鳥取県)
山田 秀善(京都府)
湯川 健司(和歌山県)
吉川 久雄(京都府)
匿名[7名]
円徳寺[藤谷 伸宏](山形県)
浄宝寺[島津 知道](鹿児島県)
大願寺[北 秀継](北海道)

◆件数 38件

◆寄付金総額 2,750,000円

●お問い合わせ先
教育振興資金事務局

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター内

TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157 E-mail: kouyu@sec.otani.ac.jp

シンプルに生きる？

最近、キンドル(電子書籍端末)で本を読むのに凝っている。キンドルそのものは二年前に購入していたのだが、たまに音声とともに読むツールとして使用するに留まっていた。ところが、ある日、何気なく通常より大きなフォントで読んでみて、ひどく安楽に読書ができることに驚いたのである。

勉強の手助けとなるツールは、キンドル以外にもたくさんある。私が興味を持つ語学学習という観点から考えても、電子辞書に始まって、ポッドキャスト、ユー・チューブ、ブログ……。ほんの少し前まではラジオ英会話と洋書とウィデオしかなかったのに、今ではパソコンないしはスマートフォンがあれば、大量の情報を受信でき、また簡単に発信できる。ただ、この利便性との自分らしいつきあい方をみつけるのが難しい。

もしかしたら、ヘンリー・デイヴィッド・ソローが約二五〇年前に書いた『森の生活』——たった今私がキンドルで読んでいる——がその答えを提供してくれるかもしれない。彼は、アメリカはマサチューセッツ州北東部のコンコードにあるウォールデン湖畔の森の中に自らの手で小屋を建て、

自給自足の生活を営んだ人物である。流行を追い贅沢に憧れて無為な生活を送る人々を批判し「なにごとにも簡素に、簡素に、簡素に」と心がけるべきだと考え、そのように行動した。彼曰く「文明人とは、経験を積んで賢くなった未開人のことである。」

ソローのように断固たる姿勢を貫くのはなかなか大変だが、大切なのは、今の時代を生きる自分の人生という「まだほとんど手をつけたことのない実験」にまっさらな気持ちで立ち向かうことなのではないか。賛否両論ある電子書籍端末だが、フォントを自由に変更できるだけでなく、こうした古典の言葉に思い立った時にアクセスできるので、私はしばらくは積極的に使ってみたいと思っている。さて皆さんはどのように現代のテクノロジーとつきあっているだろうか。



文学科 講師
石本 哲子
専門分野/アメリカ文学

時代を照らす仏教のことば

願わくは
深く無常を念じて、
いたずらに後悔を
貽すことなかれ。

親鸞「教行信証」

解説文はこちら → 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/0111>

編集後記

長いようで短い大学生活。対談記事「私たちの課題」の取材の際、改めて自分自身を振り返り感じました。さまざまな人や出来事との出会いを大切に、大学生活を、人生を、実りあるものにしてください。

(編集担当)

